

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月10日		記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	土木部		課名	相模湖建設課	課長名	山崎 勝男
平成19年度部名	土木部		課名	相模湖建設課	課長名	山崎 勝男
事務事業名	道路調査測量設計委託					
予算上の事務事業名	道路調査測量設計委託					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32210		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第2節 安全でゆとりある道路の整備					
施策名	第1施策 人にやさしいみちづくり					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	道路法					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	調査・研究			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
市民の安全で快適な生活環境の向上を目的に道路の改良、測量及び設計を行うため委託をする。				歩行者、自転車、自動車等		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
調査測量業務委託 2箇所 2路線 委託延長 1190m 設計業務委託 2箇所 2路線 委託延長 1190m						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	15,005	3,600	3,600	
一般財源	0	0	15,005	3,600	3,600	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	3,285	1,642	1,642	
事業コスト合計	0	0	18,290	5,242	5,242	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	道路調査測量設計委託			対象名称 と単位	委託箇所数	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	18,290	5,242	5,242	
対象数	0	0	4	1	1	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	4,572,500	5,242,000	5,242,000	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.15	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	処理率（％）	指標式と指標の説明		処理件数 / 予定処理件数 × 100	
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	0.0	0.0	100.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	委託実施率（％）	指標式と指標の説明		委託実施件数 / 委託実施予定件数 × 100	
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	0.0	0.0	100.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果享受している。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		改良事業を行うに当たり、事前の調査測量は必要不可欠である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			